



秋永 安次 議員

学校教育の課題について

ICT教育環境の

整備状況は。

答 タブレット端末機を活用して学習できる環境整備をしました。

問 ICT教育環境の整備状況とプログラミング教育の推進は。

答 教育指導部長

市内全ての小中学生が1日1時間はタブレット型端末機を活用して学習できる環境を整備しました。プログラミング教育の推進については、次年度の新学習指導要領での学びに対応できるよう準備を整えました。

問 プログラミング教育の効果的な指導方法はどのように研鑽していくのか。

答 教育指導部長

開始1年目であることから、小学生の学びに向かう意欲や反応を見ながら校内での授業研究会を開催し、効果的な指導方法の研究を進めていきます。

問 不登校への対応として、早期発見や早期対応にどのように取り組んでいるのか。

答 教育指導部長

学校では、日頃から遅刻や欠席の状況、健康状態、表情や行動などの観察を行い、気になる様子が見られた場合は、個別面談で思いに寄り添い、

必要に応じて保護者と連絡を取り合っています。また各校で取り組んでいます。「居心地のよい学級づくり」や「魅力的な学校づくり」が不登校の未然防止につながると考えています。

問 学校における食育の取り組みについて。

答 教育指導部長

学校ごとに作成している食育年間計画をもとに、栄養教諭や学級担任を中心に食育を推進しています。また、学校給食では、地産地消を推進し、地域の食文化や季節の食材を取り入れた献立の充実に努めています。



食育教室の様子

問 教職員の資質向上に向けた研修の現状と今後の課題について。

答 教育指導部長

小中一貫教育の取り組みを生かし、中学校区を単位として学力向上や生徒指導、特別支援教育等の喫緊の教育課題について研修を実施しています。今後も、学校における教育課題や市内教職員のニーズを踏まえ、効果的な研修の機会を設けていきます。

その他の質問

○保育士確保、待機児童解消対策等について